



棚田保全による都市・農村交流の推進

中間農業地域

しもあかさかじょうあとしゅうへんたなだほぜんきょうぎかい

みなみかわちぐんちはやあかさかむら

下赤阪城跡周辺棚田保全協議会（大阪府南河内郡千早赤阪村）

- 本地域は、大阪府南東部の金剛山の中腹に位置し、室町時代に形成された棚田と豊かな自然が広がる歴史や文化に恵まれた地域である。
- 平成11年に「日本の棚田百選」への選出を契機に「下赤阪棚田の会」を結成し、近郊の都市住民と連携した棚田保全活動等を実施。平成27年度に周辺地区を含めた活動組織を立ち上げ、多面的機能支払交付金を活用し、畦畔や耕作道の軽微な補修等営農環境の維持・改善を図る活動を実施。
- 本取組を通じ、都市農村交流の促進が図られるとともに、棚田と周辺環境の適切な保全により棚田を活用した村を代表する観光イベントが毎年開催されるなど地域振興が図られている。

【地区概要】

- ・取組面積 4ha(田3ha、畑1ha)
- ・資源量 開水路1.8km、農道1.6km
- ・主な構成員
農業者、村立中学校
- ・交付金 0.1百万円(H29)
〔 農地維持支払 〕

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、大阪府南東部の金剛山の中腹に位置し、室町時代に形成された棚田が創り出す美しい景観を有する中山間地域である。
- 千早赤阪村は過疎地域となり、人口減少や担い手不足、農業者の高齢化が進行し、棚田の維持管理が難しく耕作放棄地の増加が懸念される状況であった。
- 平成11年に「日本の棚田百選」に選ばれたことを契機に棚田保全の機運が高まり、棚田の地権者による「下赤阪棚田の会」を結成。



下赤阪の棚田

取組内容

- 平成27年度から、周辺地区も含めた活動組織を立ち上げ、多面的機能支払交付金を活用し、畦畔や耕作道の軽微な補修等の活動を行い、営農条件を維持・改善。
- 大阪府の基金を活用した「棚田・ふるさとファンクラブ」と連携し、年7～8回、草刈りや泥上げ、不作付地を利用したコスモスの植栽等を実施。



畦畔補修

取組の効果

- 棚田の保全活動に毎回多くの都市住民や大学生等のボランティアが参加するなど、都市農村交流の促進が図られている。

〔 毎年延べ300人以上が活動に参加。
多い時には1回の活動で80人が参加。 〕

- 本取組により、棚田と周辺環境が適切に保全され、「早乙女による田植え」や「金剛山の里 棚田夢灯り&収穫祭」などの村を代表する観光イベントが継続的に開催され、地域振興が図られている。

〔 近年の「棚田夢灯り&収穫祭」の観光客：4,000人 〕



棚田保全活動



ジャガイモの収穫イベント